

第 19 回

上サロベツ自然再生協議会

再生技術部会 開催報告について

令和 2 年 1 0 月 5 日

上サロベツ自然再生協議会運営事務局

第26回 上サロベツ自然再生協議会 再生技術部会【書面開催】 議事概要

日 時：令和2年8月26日(水)～令和2年9月9日(水)

出席者（資料送付）：会員37名

1. 開 会

2. 議 事

1) 農業と湿原の再生に向けた自然再生実施計画書（緩衝帯・沈砂池）について

【北海道開発局稚内開発建設部】

（開発局）令和元年度の緩衝帯・沈砂池のモニタリングについて報告した。また、農業と湿原の再生に向けた自然再生実施計画書（緩衝帯・沈砂池）の変更（案）の内容を説明し提案した。

（座長） 特に意見なく、変更（案）を承認した。令和2年度上サロベツ自然再生協議会【書面開催】で報告ならびに提案する。

2) 上サロベツ自然再生事業実施計画書に関する報告について

【環境省北海道地方環境事務所】

（環境省）「①サロベツ川放水路南側湿原周辺の乾燥化対策」、「②サロベツ原生花園園地跡地植生回復試験地の改良」、「③丸山周辺のササ侵入抑制対策」について、令和元年度の取り組みを報告するとともに、令和2年度の取り組みの予定について説明した。

（座長） 特に意見なく、令和2年度上サロベツ自然再生協議会【書面開催】で報告する。

3) 稚内砂丘林自然再生事業実施計画書に関する報告について

【林野庁北海道森林管理局】

（林野庁）「①砂丘林帯湖沼群の水位低下の抑制」、「②砂丘林の修復及び保全」について、令和元年度の取り組みを報告するとともに、令和2年度の取り組みの予定について説明した。

(座長) 特に意見なく、令和2年度上サロベツ自然再生協議会【書面開催】で報告する。

4) その他 【上サロベツ自然再生協議会運営事務局】

(1) 今後の予定について

(事務局) 来年度の6月を目途に、第27回再生技術部会を開催したい。

3. 閉 会

第24回再生技術部会の開催

令和元年6月20日（木）13時30分より、豊富町定住支援センター（ふらっと★きた）多目的ホールにおいて、第24回再生技術部会が会員37名ほか、一般傍聴者を含め約47名の参加により開催されました。

会議では、北海道開発局稚内開発建設部から「緩衝帯・沈砂池のモニタリング」について、環境省北海道地方環境事務所から「自然再生事業の実施状況」について、林野庁北海道森林管理局から「稚内砂丘林自然再生事業の実施状況」について報告があり、事務局より平成30年度の行事報告がされました。

報告に対して、参加者からは意見や質問が相次ぎ、活発な議論が行われました。中でも、新たに加わった方の質問により、長年続けてきた取り組みを振り返るいい機会となりました。また、今後の課題として、調査データの集約をしていくことと、部会発足時は問題としていなかったエゾシカについても検討が必要になってくることが認識できました。

最後に、今年度の技術部会の開催（案）として、12月に第25回部会開催予定が提案され、承認されました。ご興味をお持ちの方は、お気軽にお越し下さい！



【会議の冒頭、挨拶する井上座長】



【北海道開発局稚内開発建設部】



【環境省北海道地方環境事務所】



【林野庁北海道森林管理局】

第18回上サロベツ自然再生協議会

～第8期 上サロベツ自然再生協議会始動～

再生技術部会に引き続き、上サロベツ自然再生協議会が開催されました。

各部会の開催報告が、再生技術部会は井上座長より、再生普及部会は吉村座長よりそれぞれ行われ、事務局より第7期協議会の活動経緯についても報告されました。

その後、平成31年3月までに行った第8期会員の募集結果について事務局より報告があり、個人会員24名、団体関係機関20団体の合わせて44名の会員となりました。続いて役員を選出が行われ、まず協議会会長に梅田安治氏、会長代理に小泉副町長が選出されました。そして、再生技術部会の座長には井上京氏、座長代理は西島今朝悟氏、再生普及部会座長には吉村穰滋氏、座長代理は田中美佐保氏が選出されました。

最後に、情報提供として、環境省稚内自然保護官事務所より「自然再生の社会的評価プロジェクトチームによる、評価手法開発に向けたヒアリング」についての紹介と、認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワークより「自然再生全国会議参加報告」がありました。

議事が滞りなく進み、河田町長による挨拶により、第18回上サロベツ自然再生協議会は幕を閉じ、第8期（令和元年7月～令和3年6月）のスタートが切られました。



【上サロベツ自然再生協議会開催の様子】



【豊富町河田町長による挨拶】

協議会と技術部会が行われた令和元年6月は、サロベツ湿原で霜害がなかったため、5年ぶりにエゾカンゾウが一面に咲き誇りました。他の花々と相まって、天然の花園を楽しめました。



【エゾカンゾウ】



【白：コバイケイソウ
紫：カキツバタ】

《第25回再生技術部会の開催》

令和元年12月6日（金）の14時30分より、豊富町民センターの2F大ホールにおいて《第25回再生技術部会》が開催され、会員・関係者のほか一般傍聴者を含む35名の参加がありました。

当日は、北海道開発局稚内開発建設部による自然再生の取組（緩衝帯・沈砂池）が来年度で終了する予定であり、終了に向けて「農業と湿原の再生に向けた自然再生実施計画書（緩衝帯・沈砂池）」の一部変更を検討していることから、その中間報告として『農業生産基盤整備完了後のモニタリング項目の変更案』について、また、環境省北海道地方環境事務所から、上サロベツ自然再生実施計画書に関する報告として『サロベツ川放水路南側湿原周辺の乾燥化対策』『サロベツ原生花園園地跡地植生回復試験地の改良』及び『丸山周辺のササ進入抑制対策』の3点について、今年の実施状況と、それを踏まえた来年の調査等の予定について、それぞれ説明がありました。

稚内開発建設部の報告に対しては、整備完了後のモニタリング方法について北海道地方環境事務所の報告に対しては、対策方法の考え方や効果について、参加者からの活発な質問や意見交換が行われておりました。

取組状況についての報告の様子

【再生技術部会・会場の様子】

